

月例経済報告（2023年5月）

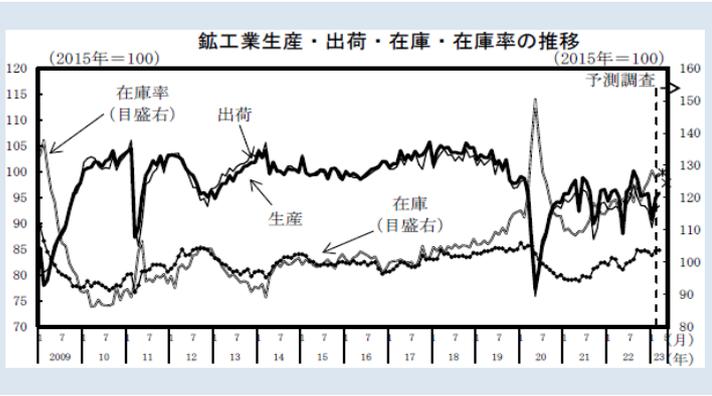
● 月例経済報告（5/25）

<p>基調判断</p>	<p>(5月) 景気は、緩やかに回復している。 雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p>	
	<p>(4月) 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。 ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p>	
<p>個人消費</p>	<p>(5月) 持ち直している。</p>	<p>実質総消費動向指数と実質総雇用者所得 (2015年=100)</p> <p>実質総消費動向指数 3月 +0.1% (3MA +0.1%) 実質総雇用者所得 3月 +0.5% (3MA +0.0%)</p>
	<p>(4月) 緩やかに持ち直している。</p>	
<p>設備投資</p>	<p>(5月) 持ち直している。</p>	<p>(兆円) 製造業・非製造業の設備投資(名目額) (兆円)</p>
	<p>(4月) 持ち直している。</p>	
<p>住宅建設</p>	<p>(5月) 底堅い動きとなっている。</p>	<p>住宅着工戸数(季節調整値) (年率、万戸)</p> <p>3月 87.7万戸 3MA 87.6万戸</p>
	<p>(4月) 底堅い動きとなっている。</p>	
<p>雇用情勢</p>	<p>(5月) 持ち直している。</p>	<p>雇用者数、就業者数の推移 (万人)</p> <p>就業者数 3月: 6,731万人 雇用者数 3月: 6,051万人</p>
	<p>(4月) 持ち直している。</p>	

生産

(5月) 持ち直しの兆しがみられる。

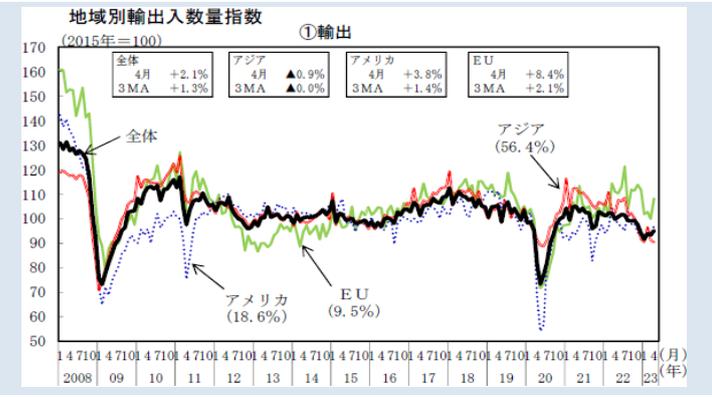
(4月) このところ弱含んでいる。



輸出

(5月) 底堅い動きとなっている。

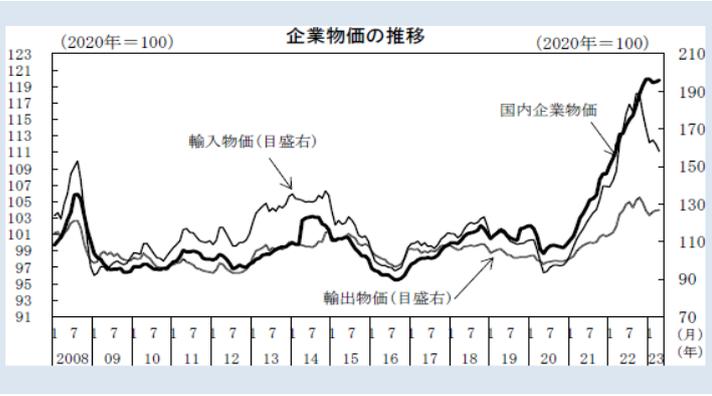
(4月) 弱含んでいる。



国内企業物価

(5月) このところ横ばいとなっている。

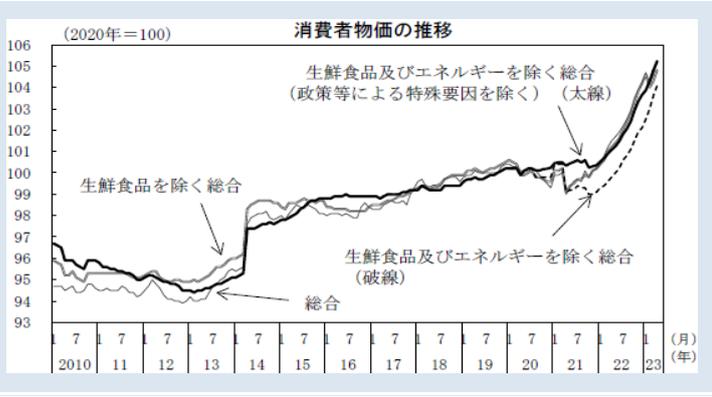
(4月) このところ横ばいとなっている。



消費者物価

(5月) 上昇している。

(4月) 上昇している。



海外経済

(5月) 世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇等による下振れリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。

(4月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。先行きについては、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響、物価上昇等による下振れリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。

[月例経済報告：内閣府](#)